

おおの 社協だより

第195号
企画・編集・発行
社会福祉法人
大野市社会福祉協議会
大野市ボランティアセンター
大野市共同募金委員会
大野市天神町1-19
☎65-8773
☎66-1111(4104)
印刷・(株)松浦印刷所



迎春



平成28年 元旦

思い思いに作ったぞ!



～和泉デイサービスセンターで
年賀状作り～



和泉デイサービスセンターで、新年を迎えるにあたり、利用者が年賀状作りを行いました。
この年賀状作りは、師走の恒例行事で、利用者はそれぞれに年賀はがきに家族への思いや、来年の干支の猿の絵などを書き込んでいました。
でき上がった年賀状は、年始に配達されるように準備し、ご家庭へ配達されます。

市民の期待に応える 福祉のまちづくり



社会福祉法人
大野市社会福祉協議会

会長 **金 森 閱 治**

新年あけましておめでとございます。
皆さまには、希望に満ちた新春を御家族お揃いでお迎えのことから喜び申し上げます。

昨年中は大野市社会福祉協議会の活動に多大なお力添えをいただき、厚くお礼申し上げます。さて、近年の少子高齢化による人口構成の変化や家族形態、地域基盤の変化など私たちの暮らし社会では大きな変化が生じており、セーフティネットに生じたほころびや生活困窮の拡大など新たな福祉課題への的確な対応が求められています。

また、社会保障制度改革においては、自助、共助、公助が最も適切に組み合わせられるよう留意しながら、住民が自立した生活営むことのできるよう支援していくことが基本事項として

掲げられており、地域での支え合い、助け合いの体制づくりは急務となっております。

このことは、住民相互の支え合いの仕組みづくりを進め、様々な福祉課題の解決に取り組んでいる大野市社会福祉協議会の活動が、これまで以上に期待されることにつながるものであり、その期待に的確に応える福祉のまちづくりが今、求められているのです。

大野市社会福祉協議会では、市民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりに市民の皆さまとともに精力的に取り組んでまいり所存でありますので、今後とも、より一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本年が皆さまにとりまして幸多い年となりますようご祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。

多くの善意に 心から感謝を申し上げます



大野市共同募金委員会

会長 **安 川 勲**

あい募金運動に温かいご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

あけましておめでとございます。

大野市共同募金委員会より謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆さまには、日頃から赤い羽根共同募金と歳末たすけ

共同募金は自分のまちを良くする仕組みという趣旨にご賛同いただいた大野市区長連合会、大野市民生委員・児童委員協議会をはじめ関係諸団体、ボランティア団体並びに事業所の皆さまに地域、職域、街頭で募金活動に取り組んでいただいた結果、

大変多くの善意の募金をいただくことができました。ここに重ねてお礼申し上げます。
大野市で集まりました皆さまの尊い浄財は、誰もが幸せに暮らせるまちづくりのため大野市社会福祉協議会をはじめ、地域の皆さまが取り組まれている地域福祉活動や各種団体による福祉事業に配分され、活用されることになっていきます。
大野市共同募金委員会では、この募金が、皆さまのやさしさと思いやりを届ける運動として、より一層地域に根付いていけるよう取り組んでまいりますので、本年もご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のごあいさついたします。

赤い羽根共同募金の 実績中間報告

皆さまにご協力いただいています
赤い羽根共同募金の実績中間報告です。
ご協力ありがとうございます。

(平成27年12月10日現在)

	一般募金	歳末募金
戸 別	4,468,500円	778,900円
街 頭	207,699円	30,000円
企 業	1,114,000円	—
職 域	295,940円	—
学 校	12,626円	—
イベント	204,896円	—
個人団体	32,000円	41,903円
そ の 他	79,838円	900円
合 計	6,415,499円	851,703円
※目標額	6,641,000円	1,150,000円



大野市社会福祉大会開催

社会福祉貢献
14人・2団体を表彰

9月26日(土)、多田記念大野有終会館3階で、平成27年度大野市社会福祉大会が行われ、市民約300人が参加。

最初に式典が行われ、国歌斉唱、物故者への黙祷の後、奥越明成高校ボランティア部部長の平田絵里香さんの先導のもと、来場者全員で大野市民憲章と大野市教育理念を唱和しました。続いて、金森閣治大野市社会



平田絵里香ボランティア部長の市民憲章唱和



受賞の様子

福祉協議会会長及び岡田高大大野市長があいさつを行いました。その後、長年社会福祉の向上にご尽力されたボランティア功労者(4人)・地域福祉推進功労者(7人)・社会福祉事業功労者(1人)の各表彰と、金品寄付の感謝状贈呈(2人・2団体)が行われ、大野市議会議長など来賓の方々から祝辞をいただきました。

式典の後、「安心して暮らせるための地域コミュニケーション」と題して、吉川美代子氏の記念講演が行われ、参加者らは、コミュニケーションの重要性を再確認しました。

表彰等の受賞者、団体は次のとおりです。

大野市社会福祉協議会
会長表彰・感謝状
(順不同・敬称略)

【ボランティア功労者】

- 新井 峯子
- 廣瀬 円昌
- 安川 恵子
- 山田 正一

【地域福祉推進功労者】

- 新井 悦子
- 岩倉 光夫
- 杉川 俊秀
- 原 公子
- 番屋 友吉
- 古川 茂雄
- 松山 さとみ

大野商工会議所女性会が寄付

「貴重な浄財 ありがとうございます」

大野市社会福祉協議会は、大野商工会議所女性会から、「越前おおの産業と食彩フェア」で開催したお茶席の収益の一部として寄付をいただきました。

12月1日に大野市ボランティアセンターで贈呈式が行われ、玉木千代美会長から寄付金を受け取りました。

寄付金を受け取った、金森閣治大野市社会福祉協議会会長は、「貴重な浄財をありがとうございます。この財源は地域福祉に役立てます」とお礼の言葉を述べました。



玉木千代美会長より寄付

【社会福祉事業功労者】

稲山 久子

【金品寄付感謝状】

- 株式会社 奥越公益社
- JAテラル越前女性部
- 山内 浩一
- 山腰 甚一



講師の吉川美代子氏

賛助会費のご協力

ありがとうございます。

平成27年度賛助会費納入事業所で追加がありました。ここに芳名を報告させていただきます。

ご協力ありがとうございます。

【上庄地区】

フクイセイシ

【富田地区】

真名川(株)

【市外】

- (株)パケットデズ
- (株)ケアシステム
- (株)ハシノメディカル



いぶりっこ畑で児童とふれあい

第3回目は、小山地区の取り組みを紹介します。

小山地区社会福祉協議会は、平成10年に設立され、地域住民が加入する各種団体(区長会など10団体)から選出された理事・評議員61人で構成されています。

あなたの地域を 紹介します



小山まつりで健康チェック

主な活動としては、ふれあい農園、家庭相談員を交えた情報交換会、合同視察研修会、福祉講演会などがあります。

世代間交流を目的としたふれあい農園活動では、小山小学校内にある「いぶりっこ畑」において地区社協・小山福寿会(老人会)・見守り隊の会員が小山小学校児童に対して農作業の指導をしています。4月から11月までの間、野菜の植え付けから収穫まで様々な体験をし、収穫された野菜を使って、毎年11月頃にふれあい農園収穫感謝祭が開催されます。

感謝祭ではカレーを作り、児童が協力した人を招待して会食を行っており、協力者らは毎年楽しみにされています。



福祉講演会で福祉意識向上

情報交換会は平成26年度から実施しています。民生児童委員・福祉委員・家庭相談員などが集まり、地区ごとに意見交換をしています。みなさん大変熱心で、異なった立場での意見を聞くことのできる良い機会だと感じています。地区を知り、横の繋がりを強め、よりよい小山地区づくりをしようと呼びかけます。

そのほか、小山まつりでは、毎年健康チェックと福祉相談などを行い、地区住民との交流を図っています。まつりの後には一人暮らし高齢者や二人暮らし高齢者世帯への慰問訪問を行っており、身体の調子のことはもちろん、生活での困りごとや心配ごとなど色々なお話をしています。

無 料 相 談 業 務 の ご 案 内

法律相談

土地・住宅・財産など法律上の問題に弁護士が応じます。

(毎月第2・第4木曜日 午後1時～4時)

※法律相談は予約制をとっていますので

事前に電話での申し込みをお願いします。

(会場) 大野有終会館「結とぴあ」内相談室

心配ごと相談

日常生活の中で悩みごとや心配ごとにご相談が応じます。

(毎週木曜日 午前9時～正午)

(会場) 大野有終会館「結とぴあ」内相談室

電話福祉相談

福祉やボランティアに関する相談に社協職員が応じます。

(電話) 65-8773

(お問い合わせ先)

大野市社会福祉協議会

天神町1-19

(電話) 65-8773

秘密は厳守

お気軽にご相談



第4次地域福祉活動計画を策定中

大野市社会福祉協議会は、活動の指針となる第3次地域福祉活動計画(平成23~27年度)が最終年度を迎えるにあたり、この計画の理念を継承する第4次地域福祉活動計画を策定します。

第4次地域福祉活動計画は、平成28年度から平成32年度までの5年間を計画期間として策定するもので、その第1回策定委員会を11月19日に開催しました。この日は、策定委員に委嘱状を交付し、委員長に地区社協代表の清水武正氏、副委員長に福祉施設関係者代表の栗下治昭氏をそれぞれ選出。



策定委員に委嘱状交付



活発な意見が飛び交います

今後、2回の策定委員会を開催し、3月頃に最終計画を取りまとめる予定で、決定した第4次地域福祉活動計画は、ホームページと社協だより特別号でお知らせいたします。
なお、策定にあたって行った第3次計画の実施状況評価はホームページ(<http://www.ono-shakyo.jp/>)でご公表してまいります。

サンタさんへのお願いはな~に?

~えがおの教室でクリスマスツリーの飾りつけ~



支援員と一緒に作りました

放課後等デイサービスセンター「えがおの教室」では、レクリエーションの一環として様々な行事を行っています。
この日は、クリスマスを前にクリスマスツリーの飾りつけをしました。
色紙をさまざまな形に切り取

った飾りに、子供たちがサンタへのプレゼントの願いを書き込み、玄関先の壁面に作られたクリスマスツリーに楽しそうに張り付けていきました。
また、12月24日のクリスマスには、サンタクロースが来てクリスマス会を行いました。
サンタクロースから、お菓子の袋をもらった子供たちは大喜び。

みんなでクリスマスケーキを食べて、子供たちは満足なクリスマスを過ごしました。

えがおの教室では、現在26人が登録しており、7人の支援員が対応しています。

開所日は、月曜日から金曜日(ただし、12月29日~翌年1月3日は除く)で、午前8時30分から午後5時30分まで。
利用したい、相談にのってほ



飾りつけもパッチリ

しい場合などは、気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

〒912-0084
大野市天神町7-1-8
放課後等デイサービスセンター「えがおの教室」
電話 64-50002
FAX 64-50003

~街中カフェ「ちまた」からのお知らせ~

- 場所 三番通り (ほがらか寿司さん右隣り)
- 営業日 火・水・金・土 AM10:00~PM4:00(冬期間)
- 利用料金 200円
- 駐車場 有り(3台分)
- お茶をしながら笑ったりおしゃべりしたり、自由に心地よいひとときを過ごしたい方大歓迎です。
- 介護予防・認知症予防に効果あり
- 詳細は大野市社会福祉協議会のホームページの【ボランティア団体紹介】をご覧ください。



こんにちは！ 大野市ボランティアセンターです！



大野市社会福祉協議会が運営する大野市ボランティアセンターでは、ボランティアをしたい方、ボランティアを依頼したい方の相談を受け付けています。

「ボランティアがほしい」「ボランティアがほしい」といった相談は多種多様です。個人から組織に至るまで、幅広く相談に応じています。また、専門機関との連携を強化し、各関係機関や団体間との調整を行っているほか、ホームページや社協だよ



福祉体験で点字指導



先進地視察研修

りの発行によるリアルタイムな情報発信に努めています。ボランティアに興味のある方は大野市ボランティアセンターへお越しください。電話によるご相談も受け付けています。

○どうあるの？

場所は有終会館2階の南側にあり、平日は午前9時から午後5時まで開所しています。午前中は、ボランティア、午後は職員が常駐しています。

事前予約では夜間や土日祝日の利用(無料)も可能です。

○何があるの？

ボランティアがちょっとした打ち合わせや会議で使用できるスペースや、情報発信として各種チラシやポスター等も展示しています。

音訳ボランティアが利用する録音室を設置しています。

○ボランティアについて学びたい

ボランティアをしたい人に幅広い理解を深めるための研修会や講習会を開催しています。

○そもそもボランティアって？

ボランティアという言葉を知って、あなたが思い浮かべるこ



交流会での手話体験



交流会での一コマ

とは何ですか。お年寄りや障害のある方の介助、被災地域の救援活動、発展途上国での技術支援や医療活動・・・確かにこれらはボランティアの代表格ですが、あくまで数ある中のほんの一例。そんなに大がかりなことや特別な行いばかりがボランティアではありません。あなたの身近なところで簡単にできるボランティアがもっとたくさんあるのです。例えば、道で迷っている人がいれば、声をかけたくなりませんか、電車でお年寄りに席をゆすりたくりませんか。私たちは普段から特別に意識することなくごくごく自然に、困っている人に対し何かしたいと思っています。そんな「ボランティアの芽」があなたの中に

もたくさんあるはず。その芽に少し水をあげて育てる努力をすれば、ボランティアの花は咲くのです。大野市ボランティアセンターで「ボランティアの芽」を育てる方法を一緒に考えていきましょう。

私たちが ボランティア活動 ネットワークです



大野市ボランティアセンターの運営、ボランティア間の連携や組織的なボランティア活動を推進するため、大野市ボランティア活動ネットワークが組織されています。

大野市内で活躍するボランティア団体から選出された11人の委員が活躍しています。

活動ネットワークの活動としては、運営について話し合う会議、ボランティア団体同士の交流会、先進地視察研修などを行っています。

特に、平成27年度の情報交換会は所属している団体の活動をそれぞれ体験し、各団体の活動内容を理解しました。

また、視察研修では先進地のボランティアセンターを視察し、普段接する機会の少ない異なるボランティア同士の交流の機会づくりを行いました。

各地区社協等の活動報告

【乾側地区】

11月26日に、乾側地区で80歳以上の高齢者148人を対象に歳末友愛慰問を行いました。



乾側地区社会福祉協議会(南部新一会長)役員が、使い捨てカイロとティッシュペーパー、どら焼きを準備し、袋詰め作業を行い、袋詰めされた慰問品を乾側地区の福祉委員が対象者に届けました。

きれいに包装された慰問品を受け取ると、高齢者からは「これからも元気で頑張ります」とごなにも大喜びでした。



乾側地区社協役員で袋詰め

【上庄地区】

11月29日に、上庄地区で70歳以上の二人暮らし高齢者61世帯を対象に歳末友愛訪問と、高齢者を介護している69世帯を対象に家族介護者支援事業を行いました。

上庄地区社会福祉協議会(清水文子会長)役員が上庄公民館で慰問品を袋詰めし、上庄地区の福祉委員が各担当集落に届けました。

この活動は、同地区社協の恒例の事業の一つで、訪問を受けた対象者は、「いつもありがとうございませう」と何度も手を合わせて慰問品を受け取っていました。



上庄地区福祉委員が慰問

【富田地区】

11月28日に、富田地区で90歳以上の在宅高齢者65人を対象に友愛訪問を行いました。

富田公民館調理室で、地区社協理事がおはぎを調理。男性役員も協力し、おいしい3色おは



富田地区社協理事が思いを込めて作成

ぎを作り上げました。

対象地区の地区社協役員と福祉委員が3色おはぎと枕を持って慰問。

この活動は、20年以上続く恒例事業で、配られた慰問品を受け取った高齢者は「毎年楽しみにしています。おいしいおはぎをありがとう」と感謝の言葉を述べていました。

【和泉地区】

11月8日に、福祉講演会が和泉地域福祉センターで開催されました。

和泉地区社会福祉協議会(稲郷榮一会長)が主催し、地区住民82人が参加。

第1部では、和泉診療所の山崎高宏医師が「ポックリ逝きたい・逝かせたい」ごだけの話」と題し講演を行いました。山崎医師は、「ポックリ逝くの

は理想ではあるが、現実難しい。日頃から自分の意思をきちんと伝えることが、残された家族にとっては幸せに生きていくことができ、自分自身も幸せに逝ける」と話され、自分の最後を考える時間となりました。

第2部では、「みんなで支えよう認知症」と題して、認知症サポートーナー養成講座を開催しました。認知症キャラバンメイト和家の皆さんが、地区の小・中学生22人と共に寸劇を披露。

参加者は、認知症の症状や家族の介護の大変さ、本人との接し方について、また、地域の中で認知症の早期発見や支え合う重要性を分かりやすく学ぶことができました。

別室では、福祉用具の展示、介護食の試食、血圧・血糖値測



山崎医師の講演会



消防署職員と共に安全点検

定などの無料健康チェックも行っており、参加者は充実した時間を過ごしました。

11月12日13日の両日、和泉地区福祉委員会(米倉治一会長)は、大野市消防署和泉分遣所の協力を得て、一人暮らし高齢者防火安全見守り活動を行いました。

これは、暖房器具を使用する時期になり火災などの危険性が高くなる冬を前に一人暮らし高齢者の危険を少しでも減らし安心して生活してもらうために実施するものです。

当日は、福祉委員3人、和泉分遣所職員3人が参加し、一人暮らし高齢者宅を訪問。台所や、ガスボンベ、石油ストーブなどを点検、指導していただきました。防火安全見守り活動を受けた高齢者からは、「これで安心して冬を迎えられるのぉ」と安堵の表情が見られました。

